



令和7年2月5日
北九州市都市ブランド創造局

報道機関各位

関門海峡 が 日本遺産第3位 に！

～「関門“ノスタルジック”海峡」が第1回日本遺産アワードで第3位を受賞しました～

日本遺産ソムリエによる投票により、全国に104件ある日本遺産から、第1回日本遺産アワードの受賞地域に選出されました。

1 受賞者一覧（「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」）

- 第1位 いざ、鎌倉（鎌倉市）
- 第2位 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜（岐阜市）
- 第3位 関門“ノスタルジック”海峡（北九州市・下関市）

2 「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」について

- ・本州と九州の結節点として、古来より陸上・海上交通の要衝であった関門地域は、下関・門司両港の開港以降、海峡の出入口に双子の洋式灯台が設置され、沿岸部に近代建築が続々と建設された。北九州市と下関市の歴史を今に伝えるノスタルジックな街並みのストーリーが評価され、平成29年に日本遺産に認定された。
- ・「関門海峡日本遺産協議会」（有識者、地元関係者及び行政機関で構成）が、関門地域に多く残る建造物や街並み、景観などを連結させ、魅力ある圏域づくりに取り組むとともに、国内外へ情報発信を行い、地域活性化を推進している。
- ・関門海峡日本遺産協議会事務局

{	福岡県北九州市都市ブランド創造局総務文化部文化企画課 山口県下関市教育委員会教育部文化財保護課	}
---	--	---

3 日本遺産ソムリエとは

- ・日本遺産ソムリエは、（一社）日本遺産普及協会が行う「日本遺産検定」の合格者に与えられる称号（検定は文化庁公認）。
- ・同協会は、文化庁が認定する「日本遺産」の魅力発信に取り組む団体で、今年度10月には文化庁が主導する「オフィシャルパートナーシップ」へ選定された。

4 日本遺産アワード授賞式

日時：令和7年2月16日（日） 13：00～
 場所：京都市下京区常葉町（東本願寺前市民緑地）
 「日本遺産マルシェ」PR ステージで表彰式

※関門海峡日本遺産協議会会長（北九州市立大学 みなみ ひろし 南 博 教授）が登壇予定。

【問い合わせ先】
 都市ブランド創造局 文化企画課
 担当：楠本（課長）、橋本（係長）
 電話：093-582-2391

PRESS RELEASE

日本遺産ソムリエが選ぶ魅力的な日本遺産 「第1回・日本遺産アワード」受賞地域が決定！

～受賞コメントご紹介・表彰式開催のご案内～



この度、一般社団法人日本遺産普及協会（東京都千代田区）は、全国の日本遺産ソムリエが魅力的な日本遺産を決める「日本遺産アワード」を創設し、第1回の受賞地域が決定しました。

「日本遺産アワード」は、地域の魅力的な文化や歴史のストーリーである「日本遺産」に造詣があり、興味関心の高い「日本遺産ソムリエ（※「日本遺産検定」合格者）」が、とくに魅力的な日本遺産を選び、表彰するもの。新たな視点で「日本遺産」の魅力を発信するとともに、一層の理解と関心を促進することを目的としています。

※ 日本遺産とは、地域の魅力的な文化や歴史のストーリーであり、文化庁により現在104件が認定されています。[日本遺産ポータルサイトはこちら](#)

「日本遺産アワード」選出について

全国の日本遺産ソムリエが、104件の日本遺産の中から、「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産」に投票し、票数の多い上位3地域ずつを選出いたしました。

- ・実施期間：2024年12月10日～12月24日
- ・形式：オンラインアンケート
- ・対象：日本遺産ソムリエ（「日本遺産検定」合格者）
- ・回答数：173名

◆ 「日本遺産アワード」を受賞した6地域を発表 ◆



「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」部門

第1位 「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

第2位 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

第3位 関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～

投票時の「日本遺産ソムリエ」のコメントを抜粋

- ・「いざ、鎌倉」・・・何度も訪れていますが、歴史文化がわかりやすく景観も素晴らしい。
- ・「信長公のおもてなし」・・・岐阜城から眺め下ろす長良川は最高！
- ・「関門“ノスタルジック”海峡」・・・近代化にともない建設された建物群が今も数多く残されている。



「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産」部門

第1位 六根清浄と六感治癒の地

～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

第2位 灯（あか）り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～

第3位 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮

投票時の「日本遺産ソムリエ」のコメントを抜粋

- ・「六根清浄と六感治癒の地」・・・日本一危ない国宝という名前に惹かれました。一体どうやって建てたお堂なのだろうと見てみたいです。
 - ・「灯（あか）り舞う半島 能登」・・・能登の伝統的なお祭りで、灯籠を使って灯りを灯す光景を見てみたいと思いました。
 - ・「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」・・・神事を司る伊勢神宮に一生を捧げた人が住んだ土地に強い魅力を感じる。
-

◆ 受賞地域ストーリー・受賞コメント ◆ 「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」部門

「いざ、鎌倉」 ～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

STORY：鎌倉は、中世からの社寺や近代の洋館など各時代の歴史的遺産が織りなす風景、鎌倉文士らが残した芸術文化、自然景観といった多種多様な魅力がモザイク画のように組み合わせられています。多くの人々によって守り伝えられてきたまちの姿が日本遺産に認定されています。

受賞コメント：この度は「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」部門で第1位に選んで頂き、誠にありがとうございます。地域の皆さまと共に培った歴史的・文化的な魅力が評価されたことを、大変嬉しく思います。今後も訪れる方々に魅力的なまちだと感じて頂けるよう、一層努力してまいります。皆さまのご訪問を心よりお待ちしております。

【鎌倉市長 松尾 崇様】

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

STORY：戦国城下町・岐阜は、織田信長公が天下統一への拠点として築き上げた革新の都市。城下町には信長公が大切にしておもてなしの精神が息づき、商業や文化が開花した歴史の足跡が色濃く残っており、こうした文化が日本遺産に認定されています。

受賞コメント：この度は、記念すべき第1回日本遺産アワードに選出いただき、誠にありがとうございます。多くの方に、日本遺産「信長公のおもてなし」の魅力を感じていただけたことを大変うれしく思うとともに、一緒に取り組んできた地域の皆様に改めて感謝申し上げます。岐阜市は月と岐阜城、鶯飼や夜景など、夜も魅力的なまちです。信長公が宣教師に対して「美濃へは何度でも訪れよ」と語りかけたように、皆様にも何度もお越しいただけるよう、引き続き取り組みを推進してまいります。

【ぎふ歴史遺産活用推進協議会 事務局長 高橋 方紀様】

関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～

STORY：本州と九州の結節点として、古来より陸上・海上交通の要衝であった関門地域は、下関・門司両港の開港以降、海峡の出入口に双子の洋式灯台が設置され、沿岸部に近代建築が続々と建設されました。北九州市と下関市の歴史を今に伝えるノスタルジックな街並みのストーリーが日本遺産に認定されています。

受賞コメント：栄えある「日本遺産アワード」第1回受賞地域に選出いただき、大変光栄に存じます。山口県下関市と福岡県北九州市で構成する本ストーリーは、交通の要衝である関門海峡両岸において、日本の近代化をけん引した港湾都市・産業都市等としての歴史の面影が現代に伝わる街なみ・文化を有する点が特長です。その魅力を今後さらに多くの国内外の人々に知っていただき、訪れていただき、愛着を感じていただくため、地域一体で魅力向上に引き続き取り組む所存です。

【関門海峡日本遺産協議会会長 南 博様（北九州市立大学教授）】

◆ 受賞地域ストーリー・受賞コメント ◆ 「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産」部門

六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

STORY：鳥取県三朝町にある日本一危ないと称されるスリリングな場所に建つ国宝『投入堂』と、世界屈指のラドン泉・三朝温泉が織りなす、浄化と癒しのストーリーが、日本遺産に認定されています。

受賞コメント：記念すべき第1回の「日本遺産アワード」において、「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産部門」第1位という栄誉をいただき大変光栄に思います。そして、2月4日付で日本遺産の「重点支援地域」として認定をいただきました。日本遺産として更なる高みを目指し、また、この賞を励みに地域をこれまで以上に盛り上げていこうと、身の引き締まる思いです。三朝町ならではの「信仰と温泉」の文化を中心に据え、これからも100を超える日本遺産とともにブランド化に努め、国内外から訪れる旅行者で賑わう町となるよう取り組んで参ります。

【鳥取県三朝町長 松浦 弘幸様】

灯（あか）り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～

STORY：能登地域のキリコ祭りは、夜空を彩る巨大なキリコが街を練り歩き、勇壮な太鼓の響きと力強い掛け声が響き渡る圧巻の祭りです。地域の情熱と伝統文化が凝縮される能登ならではの特別な体験が、日本遺産として認定されています。

受賞コメント：このたび、「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産」部門で第2位に選ばれ、大変光栄に存じます。この受賞は、地域の皆さまが長年守り続けてきたキリコ祭りの成果であり、共に喜びを分かち合いたいと思います。また、昨年発生した能登半島地震及び奥能登豪雨では、全国から多くの温かいご支援や励ましのお言葉などをいただきました。改めましてこの場をお借りして、心より感謝申し上げます。多くの方々に、能登を訪れ、祭りを体感していただくことが復興の力になると信じています。

【日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」活性化協議会 会長 坂口 茂様（輪島市長）】

祈る皇女齋王のみやこ 齋宮

STORY：現在の三重県明和町は、天皇に仕え伊勢神宮を祀るために選ばれた齋王が暮らした特別な場所・齋宮を体感できるまちです。宮廷文化が織りなす悠久の歴史が日本遺産として認定されています。

受賞コメント：この度、「祈る皇女齋王のみやこ 齋宮」が「これから訪れてみたい魅力的な日本遺産部門」で第3位を受賞したことを大変光栄に思います。齋宮は、国の平安と繁栄のため都を離れ神に祈りを捧げた皇女「齋王」が暮らした場所であり、訪れる人々に感動を与えています。今回の受賞を契機に、さらに多くの方々に齋宮の魅力を知っていただき、訪れていただけることを心より期待しています。今後も地域の皆様とともに、齋宮の価値を広めていく所存です。

【明和町長 下村 由美子様】

主催元：日本遺産普及協会より祝辞

日本遺産アワードを受賞された地域の皆さま、このたびは誠におめでとうございます。皆さまが地域の日本遺産の魅力を伝えるために注いでこられた情熱が、「日本遺産ソムリエ」の心をとらえ、今回の受賞という素晴らしい成果につながりました。その努力に心から敬意を表します。このアワードが、地域の活性化や持続可能な発展に役立ち、「日本遺産ソムリエ」とともに未来への新たな一歩を踏み出すきっかけになることを願っています。皆さまのさらなるご発展とご活躍をお祈り申し上げますと共に、心からのお祝いを申し上げます。

【代表理事 小林こず恵】

◆ 2月16日「日本遺産アワード」表彰式のご案内 ◆

2月15日（土）16日（日）に京都市で開催される「日本遺産マルシェ」内のステージにて、6地域の表彰式を行います。どなたでもご覧いただけるステージになっておりますので、ぜひお立ち寄りください。

- 日時：2月16日（日） 13:00-13:30
- 会場：お東さん広場（東本願寺前） ステージにて（※悪天候時は変更中止の場合あり）
- 住所：京都府京都市下京区常葉町他

▼「日本遺産マルシェ」の詳細はこちら

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/news/4602/>

報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人日本遺産普及協会

担当：山本・小林

住所：東京都千代田区東神田3-1-8 萩原ビル4階

電話番号：03-5823-5655

メールアドレス：info@jhda.or.jp

HP：<https://jhda.or.jp/>

10th ANNIVERSARY

日本遺産
10周年

2025

2月13日は
日本遺産の日

にほん

いさん



JAPAN HERITAGE

日本遺産



日本遺産
ポータルサイトにて
情報発信中!

日本遺産
マルシェ
京都

KYOTO

2025.2/15^土~16^日

(両日とも10:00 ~ 17:00)

お東さん広場 (東本願寺前市民緑地)
京都府京都市下京区常葉町他



文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

2月13日は日本遺産の日

JAPAN HERITAGE

2025

「日本遺産」とは地域の歴史的の魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統をストーリーで語るものです。文化庁及び日本遺産連盟は日本遺産に対する理解と関心を高めることを目的に、親しみやすさ、覚えやすさから、2月13日を「にほん(2)いさん(13)の日」としました。これを記念して、これまで日本遺産を知らなかった方にも楽しんでもらえるPRイベントを開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

ACCESS MAP



P 有料駐車場 電車、バスでお越しの場合 JR京都駅より徒歩7分 地下鉄・五条駅より徒歩5分 烏丸七条バス停より徒歩1分

日本遺産オフィシャルパートナーを募集しています。

文化庁では、日本遺産への関心を広めるため、御協力いただける民間企業や団体と「日本遺産オフィシャルパートナーシップ」を締結する制度を創設しました。オフィシャルパートナーとして、一緒に日本遺産を盛り上げていただける企業等を募集しています。また、この「日本遺産の日」に運動して、パートナー企業等でも様々な取組みが実施されています。



詳しくはこちらから

日本遺産プレミアム 日本遺産「御食国(みけつくに)若狹と鯖街道」のストーリー

日本遺産が目指すべきモデルとして、日本遺産認定地域の日本遺産としての取組みが高く評価され、日本遺産地域が目指すべきモデルとして認定されたものです。「御食国若狹と鯖街道」が全国で唯一選定されています。

若狹は、古代から「御食国」として塩や海産物などの食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地です。近年「鯖街道」と呼ばれる若狹と都をつなぐ街道群は、食材だけでなく、様々な文化を運ぶ交流の道でした。都との交流は、市民生活と結びつき、街道沿いに社寺・町並み・民俗文化財などによる多彩で密度の濃い往来文化遺産群を形成しました。「鯖街道」をたどれば、1500年続く往来の歴史と、伝統を守り伝える人々の営みを肌で感じることができます。



鯖街道最大の官場町「熊川町」



ストーリーを感じることができる催し



日本各地には、それぞれの地域の歴史や風土に根差した、豊かで、魅力溢れる建物や美術品、お祭りや行事、昔の人びとの生活を語る遺跡や遺物など、守り・伝え・残されてきた文化財があります。それらの文化財を通して地域の歴史的の魅力や特色を示す風習や文化をストーリーとしてまとめ、文化庁が「日本遺産」として認定しています。日本遺産を体感することで、彩り豊かな各地の特色を知ることができます。

日本遺産ポータルサイト 各地域の日本遺産をもっと詳しく知りたい方は <https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>

